



2021年5月11日

各 位

会 社 名 サンケン電気株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 和田 節
コード番号 6707 (東証 市場第一部)
問 合 せ 先 I R 部 長 岩田 卓也
T E L (048)472-1111

構造改革に伴う特別損失の計上等 並びに通期業績予想と実績値との差異の発生に関するお知らせ

2021年3月期連結決算におきまして、構造改革に伴う特別損失の計上及び既に計上済みの特別損失額の変更並びに法人税等調整額(益)の計上を行いました。また、2021年2月3日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上等

(1) 事業構造改革費用の計上

事業構造改革に関連する費用として、既に第3四半期までに、特別退職金9億35百万円及び退職給付制度終了損84百万円を計上しておりましたが、これに、構造改革実行に伴う事業構造改革引当金繰入額からの振替及び追加計上額を加えた16億63百万円を、通期連結決算において事業構造改革費用として特別損失に計上いたしました。

(2) 事業譲渡損失引当金繰入額の変更

2020年11月26日付「(開示事項の経過) 社会システム事業の譲渡に伴う当社子会社との吸収分割契約締結に関するお知らせ」にてお知らせの通り、2021年3月期第2四半期連結決算において、特別損失として事業譲渡損失引当金繰入額17億97百万円を計上いたしましたが、株価上昇による譲渡対象における退職年金の運用良化に伴い、これを13億39百万円に変更し、通期決算において計上いたしました。

(3) 法人税等調整額(益)の計上

連結子会社にて税務上の繰越欠損金等に対する繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額(益)として26億71百万円を計上いたしました。

2. 通期連結業績予想と実績値との差異の発生

(1) 通期連結業績予想と実績値との差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) 2021年2月3日公表	百万円 155,000	百万円 △2,900	百万円 △4,800	百万円 △8,300	円 銭 △343.74
今回実績(B)	156,795	△1,198	△3,406	△6,952	△287.96
増減額(B-A)	1,795	1,701	1,393	1,347	—
増減率(%)	1.2%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	160,217	4,309	2,674	△5,559	△229.83

(2) 差異の理由

2021年2月3日に通期業績予想の修正についてお知らせいたしましたが、第4四半期における自動車向け及び白物家電向け半導体デバイス製品の販売が想定を上回り、この結果、売上高が業績予想を上回ることとなりました。この売上増及び原価率の改善、製品ミックスの良化等により、損益につきましても良化し、業績予想値と実績値との間に差異が生じたものです。

以 上